

学び続ける教師のロールモデルになった『和田岡今昔』

「和田岡小学校初代校長と四代目校長が同一人物なのは、どうしてですか。」

6年生の総合的な学習の時間、和田岡地区福祉協議会企画委員長の渡邊政和様を講師に迎えて行われた「和田岡今昔」。ふるさとの歴史を学ぶこの授業の目玉はQ&Aのコーナー。好奇心旺盛な子どもたちが用意した「和田岡の歴史30の質問」に渡邊様が次々答えるというもので、その一問目が冒頭の難問。渡邊様は本校初代校長荻野覚太郎氏が横須賀藩に仕え江戸暮らしをしていたことを調べ、そのうえでこうおっしゃった。「明治22年、村立和田岡尋常高等小学校が創立されたとき、まだ和田岡には優秀な人材が育っていなかった。そこで中央に仕え新時代の到来とともに地元に戻ってこられた荻野氏に白羽の矢が立ち、どなたかが頼みに行ったらしい。そして、荻野氏は和田岡地区に人材が育つまでの二期14年をこの地のために尽くしてくださったのだ。」

以後、児童の疑問は小学校の歴史にとどまらず、古墳や地区祭典、果ては地域の人口の減少といった今日的な問題にまで及んだ。渡邊様がそのすべての回答を作り、パワーポイントで資料を提示しながら説明してくださる姿はまさに圧巻だった。授業後、渡邊様に聞くと、児童からの質問を8月に学級担任から預かると、その後、この授業のために書籍を読みあさり、多くの人に取材をして、回答を作り上げたという。私がお礼を言うと、渡邊様は「いやいや、こういう機会をもらって、子どもたちのために、地域のことを調べられてよく自身勉強になった。本やインターネットでは解決できないことも多くて、でもいろんな人のところに足を運んで話を聞くのが本当に楽しかった。」とおっしゃった。

現在、教育界が推し進める「令和の日本型学校教育」において、「時代の変化が大きくなる中で常に教師は学び続けなければならない」「主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデルである」と、今後求められる教師像が記述されている。この日の渡邊様の姿は、私たちがめざす「学び続ける教師像」に限りなく近かった。翌日、そんな話をするすると職員のひとりが、「私たちも和田岡の歴史について渡邊さんの話を聞いて勉強したい。」と言ってくれ、うれしかった。ことはトントン拍子に進み、渡邊様には11月28日、職員研修の講師をご快諾いただいた。

江戸末期の思想家岡倉天心は著書『茶の本』の中でこのように綴っている。「歴史の中に未来の秘密がある。我々は、我々の歴史の中に、我々の未来の秘密が横たわっているということを本能的に知る。変化こそ唯一の永遠である。」11月を迎え、私も令和5年度の和田岡小学校教育について思いを馳せる時間が多くなってきた。未来の和田岡小をもっともっと素敵な学校にするためのヒントは、きっと本校と、そして、地域の歴史の中にあるのだろう。

校長 梅葉 紳介



<10/14 防犯教室>

ALSOKの方を招き、1・3・5年生で防犯教室を行いました。1年生は不審者への対応、身の守り方などについて教えていただきました。



<10/24 クラブ活動>

最後のクラブ活動が行われました。4年生から6年生が仲良く様々な活動に取り組みました。写真はダンスクラブの様子です。



<10/27 ペア読書>

和田岡小はたてわり活動に力を入れて取り組んでいます。10月はそのなかでもペア活動に取り組み、1・6年、2・5年、3・4年のペアで一緒に遊んだり、上の学年の児童が読み聞かせを行ったりして、楽しい時間を過ごしました。



<11月後半の予定>

日	曜	予 定
15	火	PTA朝のあいさつ運動 移動図書館 2年生地区センター見学
16	水	読み聞かせ(すくすくの会) 放課後子ども教室(手話)
17	木	防災教室 スクールカウンセラー勤務日
19	土	かけがわ教育の日
23	水	勤労感謝の日
25	金	桜が丘中学校入学説明会
28	月	放課後子ども教室(スポーツ)
30	水	2年生図書館教室 放課後子ども教室(絵手紙)

<12月の主な予定>

5日(月)	放課後子ども教室 (スポーツ)
6日(火)	6年生花育講座
7日(水)	読み聞かせ(職員) 放課後子ども教室 (絵手紙)
9日(金)	学習発表会
14日(水)	特別日課給食なし
15日(木)	PTA朝のあいさつ運動
20日(火)	移動図書館
21日(水)	読み聞かせ (すくすくの会) 放課後子ども教室 (百人一首)
23日(金)	特別日課給食なし 冬休みを迎える会